

須知高校生のみなさんへ

令和3年度 第1学期終業式 式辞

今年度は昨年度のような新型コロナウイルス感染症拡大の影響による臨時休校期間はありませんでしたが、1学期のほとんどが「まん延防止等重点措置」又は「緊急事態宣言」の期間となりました。そのため、学校行事や部活動が制限され、みなさんも苦しい時期を過ごしたことと思います。このような状況でしたが、みなさんの協力のより、このように無事1学期を終えることができました。みなさんの協力を改めて感謝するとともに、今後とも引き続き感染防止対策への協力をよろしくお願いします。

さて、明日から夏休みとなりますが、進学講習や部活動など忙しい夏休みとなります。とりわけ3年生は就職・進学に係わって保護者の方としっかり相談をして、それぞれの試験の準備をしておいてください。

終業式にあたり、皆さんには、映画監督である田中光敏さんの言葉を紹介します。田中監督は2015年に上演された『海難1890』で第39回日本アカデミー賞で優秀監督賞を受賞され、2020年に上演された『天外者』<sup>てんがらもん</sup>では第94回「キネマ旬報ベスト・テン」読者選出日本映画監督賞を受賞されましたので、これらの映画を鑑賞したことがある人もいます。田中監督は映画の現場で学んだことを中心に多くの言葉を講演会等で紹介されています。その中でもみなさんに紹介したいのは『本気なら言葉に出して言いましょ』という言葉です。「口から出た言葉は言霊となっていく、それに向かって周りにはいる人たちが夢物語ではなくて、現実のものとして伝えてくれる。だから言葉を大切にしましょ」と述べられています。

夏休みは自分自身を見つめ直す良い期間となりますので、今一度、将来なりたい自分の姿について、家族や友人に自分の本気の思いを言葉に出して、行動してみましょう！ さらに、その言葉を紙に書き、その紙を常に見えるところに貼るなどをして、自分自身を奮い立たせる環境づくりもしてみてください。

結びに、新型コロナウイルス感染防止に努めながら、充実した夏休みを過ごし、元気な姿で2学期に再会できることを楽しみにしています。

令和3年7月20日

須知高校 校長 湯川 佳秀